

## 📷 高齢者団体と楽しく交流



11月4日、阿多小学校4年生19人が閉校前最後の交流を行いました。“共に生きる”をテーマとした福祉の総合的な学習の一環で毎年行われているもので、校庭で一緒にグラウンドゴルフをして楽しみました。二田夢望さんは、「教わりながら楽しくできました。総合的な学習では、相手の立場になって考えることを学べた。今後も活かしていきたい」と、笑顔で話しました。

## 📷 「子ども第三の居場所」助成決定書授与式



11月1日、B & G財団による「子ども第三の居場所」助成決定書授与式が市役所でありました。市は放課後に学習や生活習慣などの支援を行う施設を令和5年3月に開設予定で、同財団が施設整備費や運営費として最大9440万円を助成するものです。施設は市シルバー人材センターが運営することとしており、高齢者と子どもたちとの世代間交流の拠点としても期待されます。

## 📷 親子で参加 魚の捌き方教室



10月29日、笠沙小学校で開催され、5・6年生9人と保護者の計17人が参加しました。笠沙水産加工グループの講師から漁業や地元で獲れる魚について話を聞いた後、包丁研ぎや魚の捌き方を教わりました。最初児童らはとまどった様子でしたが、保護者と一緒に挑戦することで最後には綺麗なネイゴ(カンパチの幼魚)の三枚おろしが出来ました。児童らは、「最初は怖かったけど、上手にできてよかった。また家でも挑戦してみたい」と話しました。

## 📷 地域の伝統芸能に触れる



11月12日、小湊小学校で伊勢参りの道中を再現した馬方踊り「茶屋嬢」の披露があり、児童や保護者約50人が本物の伝統芸能に触れました。通常は2月のお伊勢講で踊られるものですが、地域について学ぶ総合学習の一環として学校が保存会に依頼し実現したものです。昨年茶屋嬢について調べてきたという今村心香さん(6年生)は、「方言を使って唄にしているところがすごい、今後も続いて欲しい」と話しました。